

平成30年度運行分系統別利用実態（公表シート）

様式2

系統名	石廊崎線			事業者名	株式会社南伊豆東海バス
路線の状況	起点	経由地	終点		
	下田駅	休暇村	石廊崎港口		
系統キロ程 (km)	19.9	輸送量 (人/日)	48.0		
平均乗車密度 (人/便)	3.2	運行回数 (回/日)	15.0		
公共・拠点施設 アクセス状況	学校	下田高校、南伊豆東中学校、朝日小学校、南伊豆東小学校			
	病院	下田メディカルセンター、伊豆下田診療所、みなとクリニック			
	商業施設	下田とうきゅう、マックスバリュ下田銀座店、フードストアあおき広岡店			
	その他	伊豆急行伊豆急下田駅、下田市役所			
収支率 (%) (収益/費用)	60.9		乗車人員 (人)	107,310	
乗換可能な アクセス拠点等	拠点：1 バス停：5	名称	拠点：伊豆急行伊豆急下田駅 バス停：広岡、下田メディカルセンター、吉佐美、日野、石廊崎港口		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	44.9				
増収策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の利用実態に即した、平日型通学定期券の発売を引続き実施している。 2. 高齢者定期券（いきいきパス）を引続き発売し、高齢者の利用促進及び高齢者福祉を図る。 3. 当社路線バス沿線情報誌「E A Z Y（イージー）」に通学定期券の情報を掲載するなど宣伝媒体を利用した利用促進を行っている。 4. 時刻表を市役所等で配布している他、新聞折込等により各戸へ配布している。 5. 時刻表検索サイトへの掲出により、鉄道との乗り継ぎ時刻が検索できるようにしている。 6. バスロケーションシステムを導入し、利便性の向上を図っている。 7. ホームページを多言語対応とすることにより、インバウンド客の利便性向上を図っている。 				
費用削減策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 30年度賃金（人件費）についても、ベースアップを見送るとともに、賞与の業績連動制度の導入により一層の経費抑制に努めている。 2. エコドライブ（省燃費運転）を継続して取り組み経費抑制に努めている。 3. 乗務員の運転技術の向上に努めることにより、バス車両修繕費の抑制を図っている。 				
沿線市町のサポート	別紙のとおり				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>広域利用状況(%) 100 平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20 運行回数(回/日) 30</p> <p>乗車人員(人) 300,000 収支率(%) 100</p>				

系統地図

【下田駅～休暇村～石廊崎線 路線図】

